

1. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実績一覧 [令和2年度・令和3年度]

No	交付対象事業の名称	事業概要(目的・効果)	交付金を充当する経費内容・積算根拠	事業 始期	事業 終期	事業費 (千円)	財源内訳(千円)			対象分類	区分	感染 対策	町民 支援	商工業 分野	農業 分野	教育 分野	福祉 分野	観光 分野
							特定財源	臨時交付金	一般財源									
1	休業支援助成事業	外出自粛等により、飲食店、小売店等では客足が遠のき、事業者の経営維持等は厳しい状況にある中、緊急事態宣言期間中、北海道の休業要請に協力した事業者に対して、町が支援金を支給した。	・法人事業者10万円×2件=20万円 ・個人事業者20万円×18件=360万円 ・飲食店 30万円×16件=480万円 合計860万円	R2.5	R2.6	8,600		8,600	-	01事業者	01休業要請協力金			○				
2	時短要請等協力金事業	外出自粛等により飲食店等では客足が遠のき、事業者の経営維持等は厳しい状況にある中、5月16日から緊急事態宣言措置区域となり、北海道の時短要請に協力した町内飲食店等事業者に対して、町が独自に協力金を支給した。	・法人事業者30万円×6件=180万円 ・個人事業者20万円×17件=340万円 ・合計520万円	R3.5	R3.10	5,200		3,000	2,200	01事業者	01休業要請協力金			○				
3	時短要請等協力金事業	新型コロナの影響による外出自粛等により飲食店等では客足が遠のき、事業者の経営維持等は厳しい状況にある中、8月27日から9月12日までの緊急事態宣言措置区域となり、北海道の時短要請に協力した町内飲食店等事業者に対して、町が独自に協力金を支給した。	・法人事業者30万円×6件=180万円 ・個人事業者20万円×17件=340万円 ・合計520万円	R3.9	R3.10	5,200		2,861	2,339	01事業者	01休業要請協力金			○				
4	時短要請等協力金事業	新型コロナの影響による外出自粛等により飲食店等では客足が遠のき、事業者の経営維持等は厳しい状況にある中、令和4年1月27日から2月20日までのまん延防止等重点措置措置区域となり、北海道の時短要請に協力した町内飲食店等事業者に対して、町が独自に協力金を支給し	・法人事業者(認証店)30万円×5件=150万円、法人事業者(非認証店)15万円×1件=15万円 ・個人事業者(認証店)20万円×9件=180万円、個人事業者(非認証店)10万円×6件=60万円 合計405万円	R4.1	R4.3	4,050		3,800	250	01事業者	01休業要請協力金			○				
5	事業継続支援助成事業	感染症拡大により、特に大きな影響を受けている事業者に対して、事業の継続を下支えし、再起の糧としていただくため、事業全般に広く使える給付金を国の持続化給付金に上乗せして支給した。	・国の持続化給付金と同じ ・85事業者×20万円=1,700万円	R2.6	R3.3	17,000		17,000	-	01事業者	02給付金			○				
6	特定商工事業者サポート支援事業	コロナ禍の中、社会的に欠かすことができない施設である理容業・美容業及び地域交通事業者について、経済活動を継続しながらクラスターによる感染拡大を抑制するという対策を講じながら、前向きに事業継続に取り組む事業者について、業継続強化及び下支え、感染拡大防止対策等、事業全般に対して支援した。	・1事業者(1施設)200千円×15事業者=3,000千円	R2.9	R3.3	3,000		3,000	-	01事業者	02給付金	○		○				
7	経営・雇用持続応援金	長引く外出自粛等により、飲食店等では客足が遠のき、事業者の経営維持等は厳しい状況にあるため、にぎわいを取り戻せるまでの間を下支えし、営業や雇用を維持するための経費の一部として町が助成金を支給した。	・個人事業者20万円×77件=1,530万円 雇用保険被保険者数2人×3万円加算=6万円 ・法人30万円×42件=1,260万円 雇用保険被保険者数135人×3万円加算=405万円 ・合計3,201万円	R3.3	R3.5	32,010		31,212	798	01事業者	02給付金			○				
8	中小企業融資制度利子全部補給事業	新型コロナウイルス感染症の発生により、一時的な業況悪化から資金繰りに支障を来す中小企業者等に対して、経営の安定化を図るため、町が定める融資制度を活用した際の利子及び信用保証料の全部を補給した。	・融資制度を活用した際の利子及び信用保証料の全部 ・令和2年度実績 14件 789千円 ・令和3年度実績 14件 789千円	R2.4	R4.3	1,578			1,578	01事業者	03支援			○				
9	事業持続活動助成事業	業種や事業所規模を問わず、幅広い事業所を対象として、事業を持続する事業者が、利用者、従業員等の感染予防対策として、清掃・消毒等の公衆衛生確保の活動強化に対する経費の一部として、支援金を支給した。	・公衆衛生確保の活動強化に対する経費の一部 ・170事業者×5万円=850万円	R2.6	R3.3	8,500		8,500	-	01事業者	03支援	○		○				
10	経営持続化支援事業	地域の原動力となる小規模事業者の活性化を図るため、町内の商工業事業者が持続的な経営に向け、経営・事業計画を策定し、その計画に基づいて取り組む、創意工夫を凝らし地道な販路開拓(生産性向上)を支援した。	・事業費の3分の2補助(上限500千円) 51件、20,446千円 (1)自社ホームページ作成・更新経費 (2)商品開発等に係る経費 (3)業務の効率化に資する施設及び機械設備等に係る経費	R2.9	R3.3	20,446		20,446	-	01事業者	03支援			○				
11	経営持続化支援事業	地域の原動力となる小規模事業者の活性化を図るため、町内の商工業事業者が持続的な経営に向け、経営・事業計画を策定し、その計画に基づいて取り組む、創意工夫を凝らし地道な販路開拓(生産性向上)を支援した。	・事業費の3分の2補助(上限500千円) 55件、19,558千円 (1)自社ホームページ作成・更新経費 (2)商品開発等に係る経費 (3)業務の効率化に資する施設及び機械設備等に係る経費	R3.3	R4.3	19,558		8,340	11,218	01事業者	03支援			○				
12	生活交通路線バス密集軽減輸送能力増強事業	・3密防止の観点から、生活交通路線空間での感染機会を削減するため換気と併せて、乗車定員の多い大型バスにすることにより、感染拡大の防止を実施した。 ・函館バス株式会社	・地域間幹線系統(今金町・せたな町・長万部町) ・大型バス変更に伴う車両変更に係る経費助成9,000千円×36.57%(今金町負担割合)=3,291千円	R3.12	R3.12	3,291		-	3,291	01事業者	03支援	○		○				
13	地域ソーシャルビジネス支援事業	・障がい者が活躍できるビジネスを育てる町を目指す ・障がい者の安定した雇用による定住人口の増加及びイチゴ狩り等の観光コンテンツの開発による交流人口の増加といった新たな地域経済を生み出す取組に支援した。	・新たなビジネスに対する支援金 イチゴ栽培ハウス1棟1,834,426円+付帯設備費一式14,036,000千円=15,870,426円×3/4=11,902,000円 ・TTNコーポレーション	R2.9	R3.3	11,902		11,902	-	01事業者	04地域振興			○	○		○	
14	農業用施設感染症対策改修事業	感染防止の観点から、農業分野におけるパート・従業員等の休憩所等を中心とした施設整備と改修に係る経費の一部を助成した。	・上限50万円 84経営体 合計36,553千円	R2.9	R3.3	36,553		36,553	-	02農業者	03支援	○		○				
15	地域経済応援商品券発行事業	外出自粛等により、飲食店、小売店等では客足が遠のき、地域経済に大きな打撃となっている。特に経済的な打撃が大きい「飲食店専用商品券」と「全店対応商品券」をセットにして、プレミアム率30%で販売した。	・販売額25,000円+プレミアム額7,500円(支援額) ・1,062世帯×7,500円=7,965千円+事務費2,335千円=10,300千円	R2.4	R2.10	10,300		10,300	-	03全町民	05経済対策		○	○				

No	交付対象事業の名称	事業概要(目的・効果)	交付金を充当する経費内容・積算根拠	事業 始期	事業 終期	事業費 (千円)	財源内訳(千円)			対象分類	区分	感染 対策	町民 支援	商工業 分野	農業 分野	教育 分野	福祉 分野	観光 分野
							特定財源	臨時交付金	一般財源									
16	今金米消費拡大事業	外出自粛や外食産業等の営業時間短縮など、米の需要が低下により在庫が増え、米の単価が下落することが見込まれることから、米の消費拡大を図るとともに、地元産米の美味しさを手軽に発見できるPRとして、今金町農業協同組合と協賛して、レトルトご飯を町民に配布した。	・レトルトご飯170円(税込)×4パック×4,600セット=3,128千円 ・全町民	R2.12	R3.2	3,128		3,128	-	03全町民	05経済対策	○		○				
17	新型コロナウイルス感染対策感謝・応援商品券事業	新型コロナウイルス感染症に関しては、いまだ感染が終息しない中、町民の皆様におかれては、日頃より感染予防対策にご努力、ご協力いただき感謝申し上げます。ありがとうございます。この感染防止に対する協力への感謝と安心生活を取り戻し、新たな地域経済の還流を促進し、地域における消費活動喚起を図り、町内事業者の事業継続・安定を下支えすることを目的として、商品券事業を実施した。	・応援商品券1,000円×49,381枚=49,381千円 ・送料1,562千円+事務費等1,356千円 ・合計52,299千円 ・全町民	R3.6	R4.2	52,299		52,012	287	03全町民	05経済対策	○	○					
18	子育て世帯臨時特別給付金(町単独事業)	子育て世帯臨時特別給付金において、所得制限で対象外となる世帯について、児童一人につき10万円を支給した。	・対象児童数38名×10万円=380万円	R4.1	R4.2	3,800		3,800	-	04子育て世帯	02給付金	○						
19	無症状者に対する新型コロナウイルス感染症PCR検査費用助成事業	感染及び感染拡大を予防し、町民の不安解消や町内福祉施設等の安定的な運営支援を目的に、転入者・福祉施設等に新規入所される際のPCR検査、並びにワクチン接種(8月見込)が始まる間、福祉施設等職員の毎月1回のPCR検査費用について、全額を助成した。	PCR検査費用 (1)転入者・福祉施設等新規入所者35,640円×30件=1,069,200円 (2)高齢者施設等従事者2,200円×実績0人	R3.3	R4.3	1,070			1,070	05検査体制	03支援	○	○				○	
20	学校遠隔学習強化事業	・学校からの遠隔学習の強化、小学校6年生及び中学校3年生の履修確保等の環境整備を実施した。 ・今金小学校、種川小学校、今金中学校	・(ウェブカメラ、USBマイク、ビデオカメラ、コンパクト書画カメラ、ワイヤレスピンマイク)188千円×3セット=564千円	R2.9	R2.10	564		564	-	06学校	06オンライン強化	○			○			
21	GIGAスクールタブレット機器購入事業(単費分)	・町内の小学校・中学校の児童・生徒・教員が使用するタブレット端末の1人1台整備に係る経費に充当した。 ・今金小学校、種川小学校、今金中学校	・「3人に2台分」(国費事業)について国からの定額補助(45,900円/1台)への上乗せ分 上乗せ単価11,410円×217台=2,475,970円 ・「3人に1台分」(地方単独事業)のうち未整備分 単価57,310円×29台=1,661,990円、合計4,137,960円	R2.8	R3.2	4,138		4,137	1	06学校	06オンライン強化	○			○			
22	ICT端末を活用した家庭学習の環境整備事業	学校の臨時休業等の緊急時、少なくとも小学校5年生から中学校3年生までの児童生徒について、学びの保障を実現するため、ICT端末を活用した家庭学習の環境整備を実施した。	・町内の小学校5年生から中学校3年生までの児童生徒のタブレット端末に係るLTE用SIM契約(7月~3月)190回線 ・小学校541,662円+中学校929,566円=1,471,228円	R3.6	R4.3	1,472		1,400	72	06学校	06オンライン強化	○			○			
23	スクールバス密集軽減輸送能力増強事業	3密防止の観点から、スクールバス空間での感染機会を削減するため、換気と併せて、乗車定員の多い大型バスにすることにより、感染拡大の防止に取り組んだ。	・今金小学校路線3,805千円+今金中学校路線1,344千円+種川小学校路線3,081千円=8,230千円	R2.5	R3.3	8,230		7,384	846	06学校	07感染対策	○			○			
24	校内分散授業体制整備事業	3密防止の観点から、教室空間での感染機会を削減するため、換気と空調設備の強化に併せて、授業を2つのクラスに分散させること、かつ、授業時間確保と教員負担の軽減を図るため、分散するクラスにはモニターを設置する等、授業体制を整備した。	・今金小学校ディスプレイ等2台371,800円 ・今金中学校ディスプレイ等3台739,200円	R2.6	R2.6	1,111		1,111	-	06学校	07感染対策	○			○			
25	学校保健特別対策事業費補助金	3密防止の観点から、教室空間での感染機会を削減するため、換気と併せて、空気洗浄機能があるエアコン等を設置することにより、感染拡大の防止に取り組んだ。	・今金小学校19台9,350千円+種川小学校10台5,858千円 合計15,208千円	R2.6	R2.6	15,208	国庫補助 2,000	13,208	-	06学校	07感染対策	○			○			
26	学校保健特別対策事業費補助金	・感染症対策の強化に必要な加湿器、マスク確認付非接触型体温測定器を各学校に設置した。 ・今金小学校、種川小学校、今金中学校	・加湿器購入費29台1,276千円+マスク確認付非接触型体温測定器購入費3台866千円 合計2,142千円	R3.3	R3.12	2,142	国庫補助 1,200	-	942	06学校	07感染対策	○			○			
27	スクールバス密集軽減輸送能力増強事業	3密防止の観点から、スクールバス空間での感染機会を削減するため換気と併せて、乗車定員の多い大型バスにすることにより、感染拡大の防止に取り組んだ。	・大型バス変更に伴うスクールバス運行業務委託料追加経費 小学校分4,167,084円+中学校分2,895,768円=7,062,852円	R3.4	R4.3	7,063		6,900	163	06学校	07感染対策	○			○			
28	社会システム維持・消防署衛生確保事業	救急出動においての救急資機材の滅菌及び救急隊員の感染防止対策に取り組んだ。	・滅菌室1棟(プレハブ)3,451,118円+心臓マッサージシステム一式2,645,500円+リユース感染防止衣20着1,349,626円+災害現場用テント等610,632円+空気清浄機2台119,900円=8,176,776円	R2.9	R3.3	8,177		8,176	1	07救急体制	07感染対策	○						
29	防災活動支援事業	避難所の衛生環境を保つため、マスク、消毒剤等の資材を避難所に備蓄するための経費に充当した。	・避難所24施設 マスク、消毒液等430千円	R2.6	R3.3	430		430	-	08防災強化	07感染対策	○						
30	防災活動支援事業	自然災害時の避難所において、避難所空間での感染リスクを軽減するため、各避難者の居住空間を隔離するために整備した。	・屋内型避難所用テント2人用100張、1,089千円	R2.9	R3.3	1,089		1,089	-	08防災強化	07感染対策	○						
31	防災活動支援事業	避難所の衛生環境を保つため、マスク、消毒剤等の資材を避難所24施設に備蓄した。	・マスク400箱352,000円+消毒液56本61,600千円 ・合計413,600円	R3.9	R3.9	414		-	414	08防災強化	07感染対策	○						
32	防災活動支援事業	自然災害時の避難所において、避難所空間での感染リスクを軽減するため、避難者の居住空間の隔離及び生活環境の向上を図るため整備した。	・屋内型避難所用テント2人用100張1,100,000円+災害時避難所用ベッド104台798,054円+湿器4台1,672,000円+温度測定器2台99,000円+非接触型赤外線小型温度測定器10個71,500円+災害時用マット100枚275,000円 計4,015,554円	R3.5	R4.2	4,016		4,000	16	08防災強化	07感染対策	○						

No	交付対象事業の名称	事業概要(目的・効果)	交付金を充当する経費内容・積算根拠	事業 始期	事業 終期	事業費 (千円)	財源内訳(千円)			対象分類	区分	感染 対策	町民 支援	商工業 分野	農業 分野	教育 分野	福祉 分野	観光 分野
							特定財源	臨時交付金	一般財源									
33	快適な空間の創造、観光施設安全・安心確保対策事業	観光施設クアブラザピリカにおける3密対策として、室内換気及びソーシャルディスタンスを確保することにより、より快適で付加価値の高い空間を創出した。	・各部屋空調設備整備及び飛沫感染防止対策 客室5,490千円+レストラン2,300千円+厨房1,300千円=9,090千円	R2.9	R3.2	9,090		9,089	1	09観光施設	07感染対策	○						○
34	新たな旅行スタイルに対応するマイクロツーリズム基盤整備事業	新たな旅行スタイルに対応するマイクロツーリズムを推進しwithコロナ、アフターコロナでの観光誘客事業の核とするため、クアブラザピリカの老朽化したキャンプ場施設の再整備及びセンターハウスにおける感染症対策の強化を	・キャンプ場炊事場等の施設改修860,970円 ・センターハウス飛沫防止用アクリル板設置136,500円 ・ホール・レストラン等の施設改修2,843,500千円 ・合計3,840,970円	R3.5	R4.3	3,841		3,800	41	09観光施設	07感染対策	○						○
35	図書館パワーアップ事業	外出抑制による在宅時間を豊かなものにするため、蔵書を増やし、蔵書情報のデータ化、検索システムの整備により、読書環境の充実に取り組んだ。	・図書購入費999千円+書籍消毒器購入費285千円+管理用パソコン300千円+プリンター55千円=1,639千円	R2.4	R3.3	1,639		1,639	-	10図書館	08図書充実					○		
36	図書館パワーアップ事業	外出抑制による在宅時間を豊かなものにするため、今金町民センター図書室の蔵書を増やし、読書環境の充実に取り組んだ。	・図書購入費999,317円+DVD購入費109,680円=1,108,997円	R3.4	R4.3	1,109		-	1,109	10図書館	08図書充実					○		
37	インドア花いっぱい応援事業	自粛要請等により花きの需要が激減する中、花きを飾るることによって、ストレスの緩和や生産性を高める効果が期待できることから、公共施設等に飾る花きについて、花き販売業、今金高等養護学校及び檜山北高等学校から購入する経費に充当した。	・公共施設1万円×10か所×10か月=100万円 ・2校(プランター各30個)×4万円=7万2千円	R2.6	R3.3	1,072		1,072	-	11公共施設	03支援			○	○			
38	オンラインパソコン整備事業	感染防止の観点から、オンラインによる会議、関係機関との打合せ、テレワークに必要なモバイルパソコン、システム改修を実施した。	・モバイルパソコン7台+システム改修一式=4,307,600円	R3.6	R4.3	4,308		4,300	8	11公共施設	06オンライン強化	○						
39	保健センター等空間安全・安心確保対策事業	3密防止の観点から空間での感染機会を削減するため、としべつ保健センターにパーテーション、空気循環用扇風機、サーキュレーター、エアコン等を設置した。	・パーテーション6組377,582円+扇風機4台15,312円+サーキュレーター4台23,080円+エアコン1台562,100円=計978,074円	R2.7	R2.11	979		978	1	11公共施設	07感染対策	○						○
40	総合体育館感染症対策事業	・感染症対策のため施設の消毒等を行い、安全・安心な施設運営を行った。	・消毒業務(午前・夜間)追加配置1名1,823千円	R2.9	R3.3	1,823		1,822	1	11公共施設	07感染対策	○					○	
41	介護老人保健施設特別会計繰出・補助事業	介護老人保健施設の感染対策に(1)~(3)を実施した。 (1)感染防止のため、マスク着用、検温の徹底、加湿、空気清浄のため必要な機器を設置する。 (2)入所者の安心確保と面会リスクを軽減するため、オンライン面会に必要な機器を整備する。 (3)感染者が発生した場合に対処できるよう3室を隔離室に整備する。	(1)マスク確認付非接触型体温測定器1台412,500円+加湿空気清浄機49,500円×2台+ 64,900円×15台=1,485,000円 (2)オンライン面会用タブレット端末3台189,970円 (3)3室一式470,690円 合計2,145,660円	R2.6	R2.11	2,146		2,145	1	11公共施設	07感染対策	○						○
42	町民センター会議室、図書室空調設備設置事業	3密防止の観点から、町民センター会議室、図書室での感染機会を削減するため、換気と併せて、エアコン等を設置することにより、感染拡大の防止に取り組んだ。	・町民センター(2会議室、図書室) ・設置改修費一式3室 4,840千円	R2.6	R2.9	4,840		4,840	-	11公共施設	07感染対策	○						
43	役場、消防庁舎会議室等空調設備設置事業	3密防止の観点から、役場及び消防庁舎会議室等での感染機会を削減するため、換気と併せて、エアコン等を設置することにより、感染拡大の防止に取り組んだ。	・役場庁舎(3会議室)、消防庁舎(1会議室) ・設置改修費一式4室 4,026千円	R2.6	R2.9	4,026		4,026	-	11公共施設	07感染対策	○						
44	マスク確認付体温測定器設置事業	感染防止に必要なマスク着用、検温を徹底するため、マスク確認付非接触型体温測定器を各施設に設置した。	・マスク確認付非接触型体温測定器7台2,788,500円 ・役場、としべつ2台、総合体育館、町民センター、図書室、クアブラザピリカ	R2.6	R2.12	2,789		2,788	1	11公共施設	07感染対策	○				○	○	○
45	学校施設環境改善交付金	総合体育館は、スポーツ等の一般利用者、特に非常時には避難所等の防災拠点であり、さらには感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、収束後の経済活動の復興、地方創生を図るため、地域の実情に応じた各種事業、イベントを行う拠点となる重点施設であることから、空調設備強化を行い感染防止対策を実施した。	・実施設計2,915千円+工事監理1,485千円+改修工事費128,975千円=133,375千円	R2.9	R3.6	133,375	国庫補助 12,792	116,790	3,793	11公共施設	07感染対策	○				○		
46	介護老人保健施設特別会計繰出・補助事業	介護老人保健施設の感染対策として、食堂ホールの空調設備を整備する経費について、当該特別会計の繰出金に充当した。	・空調設備整備一式 8,800,000円	R3.6	R3.8	8,800		8,800	-	11公共施設	07感染対策	○						○
47	旧石器文化館空調設備設置事業	ピリカ旧石器文化館において、3密防止の観点と感染機会を削減するため、換気と併せてエアコンを設置することにより、感染拡大防止に取り組んだ。	・設置改修費一式 1,152千円	R3.7	R3.8	1,152		-	1,152	11公共施設	07感染対策	○				○		
48	高齢者共同生活施設せせらぎ空調設備設置事業	高齢者共同生活施設せせらぎにおいて、3密防止の観点と感染機会を削減するため、換気と併せてエアコンを設置することにより、感染拡大防止に取り組んだ。	・設置改修費一式 1,859千円	R3.4	R3.6	1,859		-	1,859	11公共施設	07感染対策	○						○
49	無線システム普及支援事業費等補助金	・町内全域に光ファイバを整備し、オンライン環境を整えることで様々なオンラインを活用した情報化を図るため、民設民営による光基盤整備費用に対する町負担金に充当した。 ・光ファイバ未整備地区町民	・総事業費408,362千円(特定財源)310,184千円+町負担98,178千円(うち過疎債97,900千円) ・過疎債交付税措置68,500千円を見込み、差し引き、町の実負担額は約29,700千円	R2.9	R4.3	408,362	国庫補助 105,198 過疎債 97,900 NTT負担 92,768	112,218	278	12光ファイバ	09基盤整備		○					
				49事業	合計	892,749		311,858	547,160	33,731								